フィルター気化式加湿器 家庭用

取扱説明書

品　番

RH-VWX12C

<保証書付>
裏表紙に付いています。

もくじ

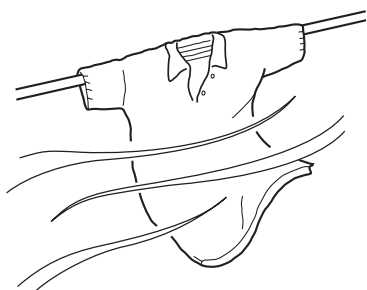
このたびは、お買いあげいただき、ありがとうございました。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
裏表紙の保証書は「お買いあげ日・販売店名」などの記入をご確認のうえ、販売店からお受け取りください。
お読みになった後は、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

上手に使って上手に節電

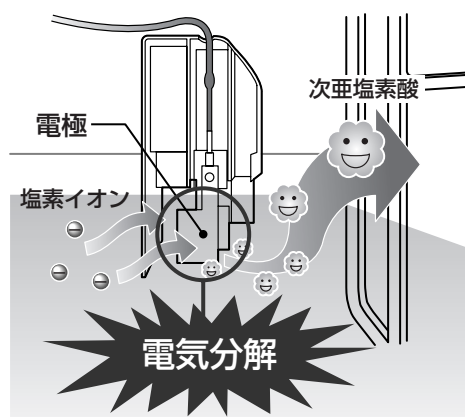
ご愛用者登録について

下記のURLよりご愛用者登録及びアンケートのご記入をお願いします。
http://products.jp.sanyo.com/support/user/index.html

特長

安全　吹き出し口が熱くない

ヒーターレスファン加湿方式

ヒーターレスファン加湿方式は、洗濯物を自然の風で乾かすように、水を含んだ加湿フィルターに風をあてて気化させる方式です。蒸気を出さないため、吹き出し口は熱くなりません。
また、必要なときに必要なだけ加湿をするので、加湿過多による結露も抑えます。

清潔　水も空気も除菌※1※2する

電解水除菌システム※3搭載

電解水技術で、水道水の塩素イオンからつくり出した『次亜塩素酸』が、加湿トレイの水をしっかり除菌※1。雑菌の繁殖やイヤな臭いを抑えます。運転停止中でも、電源が入っていれば一日中効果は持続します。
また、運転中には加湿フィルターに吸い上げられる『次亜塩素酸』によって、加湿空気に含まれる浮遊菌※2や浮遊ウィルス※4を抑制するので、加湿空気がいつも清潔です。

※1. 水の除菌＿公的試験機関：（財）日本食品分析センター／試験方法：寒天平板培養法／除菌の方法：電気分解。約99.9%除菌。
※2. 空気の除菌＿公的試験機関：（財）北里環境科学センター／試験方法：1m³の試験BOX内に菌を浮遊させ機器を動作後、一定時間後の浮遊菌数を測定。約99.9%除菌。
※3. 水道水の塩素イオンを利用し、電気分解することで生成される次亜塩素酸で除菌するシステム
※4. 公的試験機関：（財）北里環境科学センター／試験方法：1m³の試験BOX内にウィルスを浮遊させ機器を動作後、一定時間後の浮遊ウィルス数を測定。約99.9%除菌。

経済性　大能力なのに、経済的

■1日8時間運転の場合の1カ月当たりの電気代

弱運転時	強運転時
加湿量50%減	加湿量1200mL/h
約74円※1	約212円※1

ヒーターレスファン加湿方式

気化式・省エネ設計

ヒーターレスファン加湿方式は、ファンを回すだけ。蒸気をつくるための電力が必要ないため、余分な電気を使わずとても経済的。
※1. 電気代22円/kWh（税込）、1日8時間連続運転の場合。

安全のため必ずお守りください

正しく安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

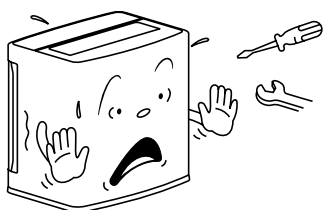
●ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ **注意**	誤った取り扱いをしたときに、人が軽傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

表示	意味	表示	意味
	禁止		必ず実施
	分解禁止		電源プラグを抜く
	ぬれ手禁止		感電に注意（本体に表示）
	水ぬれ禁止		

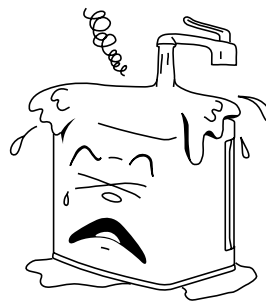
⚠ 警告

分解修理・改造の禁止

分解禁止

分解修理･改造はしないでください。

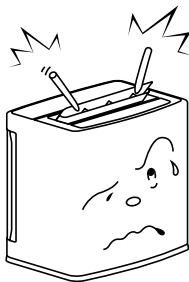
火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買いあげの販売店、またはもよりの「お客さまご相談窓口」（別紙）にご相談ください。

水をかけない

水ぬれ禁止

本体を水につけたり、本体に水をかけたりしないでください。

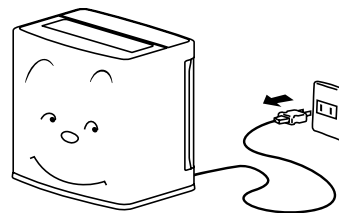
ショート・感電のおそれがあります。

異物を入れない

禁　止

吹出口や吸込グリル（吸気口）にピンや針金などの金属や異物を入れないでください。

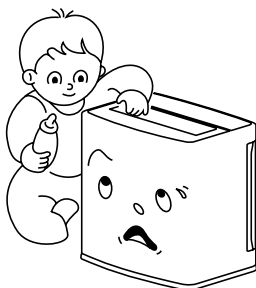
感電や異常動作でけがをすることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く

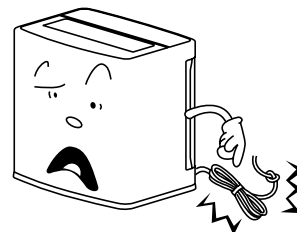
電源プラグを抜く

お手入れのときは、必ず電源プラグを抜いてください。

感電やけがの原因になります。

幼児の手の届く範囲では使用しない

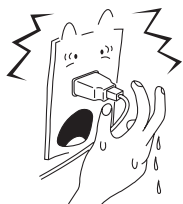
禁　止

感電やけがをすることがあります。

電源コードをいためない

禁　止

電源コードを傷つける、破損する、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじることなどはしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

⚠警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

交流100V以外での使用やタコ足配線をしない

火災・感電・故障の原因になります。

タンク、本体のお手入れには塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない

変形や変色することがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だったり、いたんだプラグ、ゆるんだコンセントを使用しないでください。

感電や発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこりを取る

定期的に電源プラグのほこりを取ってください。

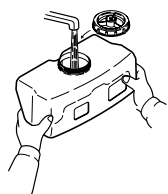
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

異常・故障時には使用しない

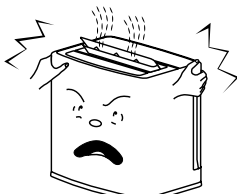
そのまま使用すると火災・感電・けがにいたるおそれがあります

すぐに電源プラグを抜いて、お買いあげの販売店、またはもよりの「お客さまご相談窓口」（別紙）に点検、修理を依頼してください。

⚠注意

タンクの水は毎日新しい水と入れ替える

タンクは毎日振り洗いをし、常に清潔にし、必ず水道水を入れてください。

お手入れせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。

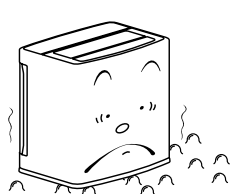
運転中はお手入れをしない

運転中は、お手入れをしないでください。

感電やけがの原因になります。

吹出口をふさがない

吹出口をカーテンやタオルなどでふさがないでください。

故障の原因になります。

不安定なところに置かない

不安定なところ、水平でないところには置かないでください。

倒れると水がこぼれます。

電気製品の近くに置かない

暖房機やテレビなどの電気製品の近くに置かないでください。

お手入れ後は部品を確実に取りつける

加湿フィルター、加湿トレイ、エアフィルター、吸込グリルなどの部品をはずしたまま使用しないでください。

故障の原因になります。

電源プラグを持って抜き差しをする

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電・ショート・発火の原因になります。

長期間使わないときは電源プラグを抜く

長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

けが・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

お願い

必ず水道水（飲用）を使用

浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは絶対に使わないでください。

除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。

本体の持ち運びはタンクを抜き必ずとってを持って行う

タンクを抜いて加湿トレイをもどしてゆすらないように持ち運んでください。

タンクに水が入ったままや、加湿トレイをはずして持ち運ぶと、水がこぼれる原因になります。☞ P17

壁や家具に風を直接あてない

加湿器の風が、壁や家具に直接あたらないようにしてください。

壁・家具がいたんだり、しみの原因になります。

お手入れは定期的に行う

「お手入れのしかた」にしたがってお手入れをしてください。

汚れがひどくなると、カビの発生、悪臭、加湿量の低下の原因になります。

凍結に注意

凍結のおそれのあるときは、タンクと加湿トレイ内の水を捨ててください。

凍結しますと、故障の原因になります。

お部屋の加湿以外には使用しない

この製品は一般家庭用のフィルター気化式加湿器です。美術品や学術資料などの保存、業務用などの特殊用途には使用しないでください。

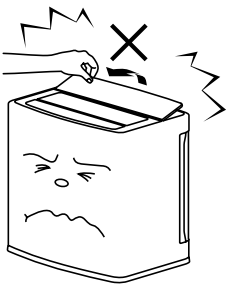
保存品の品質低下の原因になります。

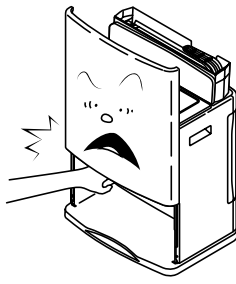
給水するときは、必ず加湿トレイの水を捨ててください

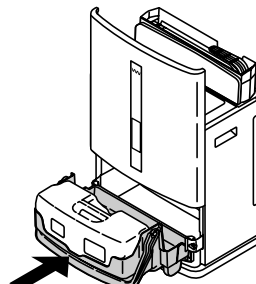
加湿量の低下、汚れ、カビ、悪臭などが発生して、加湿フィルターの寿命が短くなることがあります。

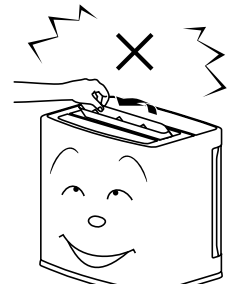
加湿フィルターユニットは無理に押し下げないでください

前パネルを下げると加湿フィルターユニットも下がります。無理に押し下げると、破損や故障の原因となります。

フィルター蓋を手前に倒さない

フィルター蓋は手前に倒れない構造になっています。無理に倒そうとすると、フィルター蓋がはずれます。

前パネルで指をはさまない

前パネルを下げるとき、本体との間に指をはさまないように注意してください。

加湿トレイをしっかり戻す

加湿トレイを本体に戻すときは、しっかりセットしてください。

ルーバーの開閉を手で行わない

ルーバーの開閉は自動で動きます。手で動かすとルーバー駆動モーターの故障の原因になります。

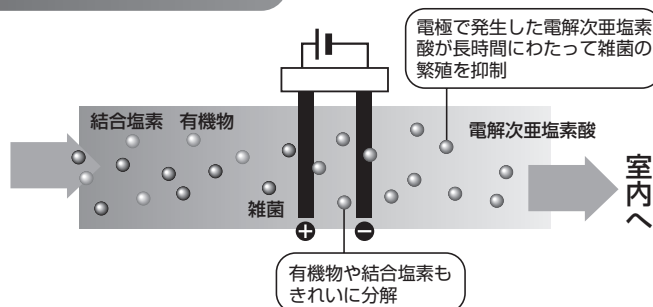
知っておいていただきたいこと

必ず水道水（飲用）をご使用ください

浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは絶対に使わないでください。
除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
温水（40℃以上）、化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を含んだ水なども絶対に使わないでください。
除菌ができなくなったり、本体の変形や故障の原因になります。

電解水除菌システムで清潔加湿

水道水の**塩素イオン**を利用した電気分解で生成する次亜塩素酸により除菌するシステムです。ただし、水道水中の塩素イオン濃度が低い場合は除菌効果が弱くなるので、使用環境によりカビや悪臭が発生する場合があります。
その場合はお手入れをこまめに行ってください。

コンセントからの通電だけで除菌効果があります。
防カビ素材を採用した加湿フィルターとともに
清潔な加湿※を実現しました。※加湿フィルター等のお手入れは必要になります。

運転中以外のときでも、タンクに水が入っている場合は、**電源プラグを抜かないでください。電解水除菌システム**が働かないため、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。また、お手入れの時期を正しくお知らせすることができません。ただし、移動などのために一時的に電源プラグを抜いても支障ありません。

次のような場所では使用しないでください

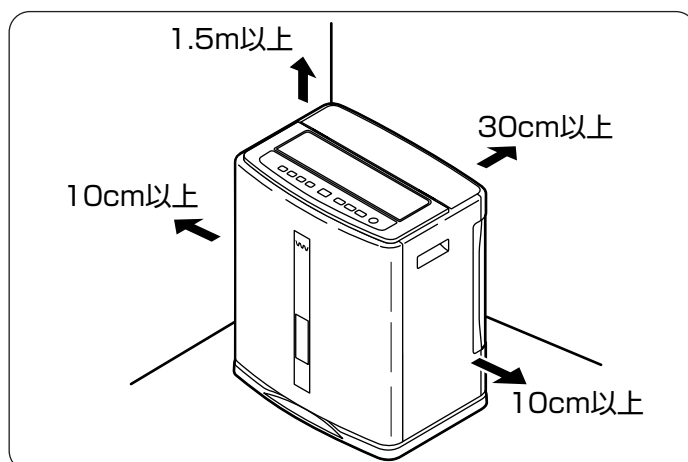
窓際など外気の影響を受けやすい場所、エアコンなどの風が直接あたる場所
お部屋の湿度が正しく表示できなくなります。

直射日光があたる場所、暖房機のそば
本体などが変形・変色する原因になります。
また、温度が上がるため、カビが繁殖しやすくなります。

カーテンの近くやふとんの上
吹出口や吸込グリルがふさがれ故障の原因になります。

高いところ、傾いた場所、不安定な場所（毛足の長いじゅうたんなど）
地震や、人が触れて落下したり、転倒する原因になります。
傾いた場所に設置すると、フロートが作動して運転が停止する場合があります。

スピーカーや電磁調理器の近くなど、磁気の多いところ
フロートが誤動作し、正常に動作しなかったり給水を正しくお知らせできない場合があります。

加湿器の周囲は右図に示す距離をとってください。

気化式について

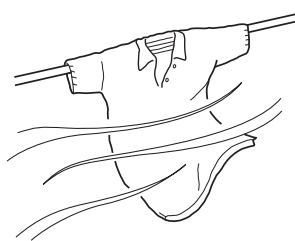
湯気（蒸気）は見えません

水を沸騰させない気化式なので湯気（蒸気）は見えません。

吹出口から出る風は暖かくありません

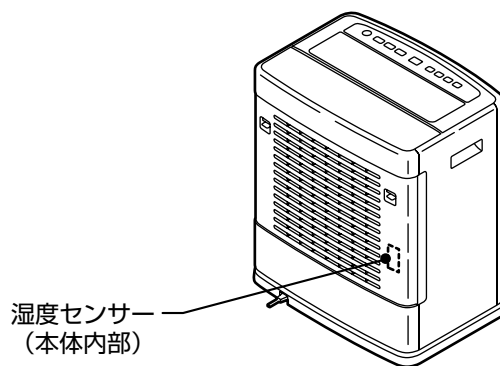
気化するときに、吸い込んだ空気の熱を奪うため、吹き出す風は暖かくありません。お部屋の広さによっては寒く感じることがあります。

湿度や温度の条件によって加湿量が変わります

室内の湿度が高い場合や温度が低い場合には連続運転でも加湿量が少なくなることがあります。

洗濯物が乾くとき、水分が気体になって放出される状態と同じ原理が **気化式** です。
水を沸騰させていないので本体も吹出口も熱くなりません。

現在湿度表示について（湿度表示はめやすとしてお使いください）

現在湿度表示は、本体内部にある湿度センサーで測った湿度の状態を表示しています。

- 同じ室内でも温度差や気流などのため、場所によって湿度が異なる場合があります。
- 運転開始直後は、本体内部の温度や湿度の影響を受けるため、現在湿度表示が安定するまで、約30分かかることがあります。
- お手持ちの湿度計と表示が異なる場合があります。

湿度について

お部屋の湿度が上がりにくいとき

- お部屋が広すぎませんか。　⇒　適用床面積をめやすとして使用してください。☞ P26
- エアフィルターがほこりで目詰まりしていませんか。　⇒　エアフィルターをお手入れしてください。☞ P18
- 加湿フィルターに、水あかやごみが付着していませんか。　⇒　加湿フィルターをお手入れしてください。☞ P21、22

適用床面積の範囲で使用していても、お部屋の湿度が上がりにくいとき

- 換気の度合、外気の乾燥の程度、床や壁の材質によっては、適用床面積の範囲で使用していても、湿度が上がりにくいことがあります。

各部のなまえ

＜本体＞

操作部・表示部

フィルター蓋

ルーバー（吹出口）

エアフィルター
（ほこりの除去）
☞ P18

とって

吸込グリル
（吸気口）

水位窓

前パネル

VWマーク

電源コード

バンド

電源プラグ

加湿フィルター
☞ P21～23

加湿フィルター
ユニット

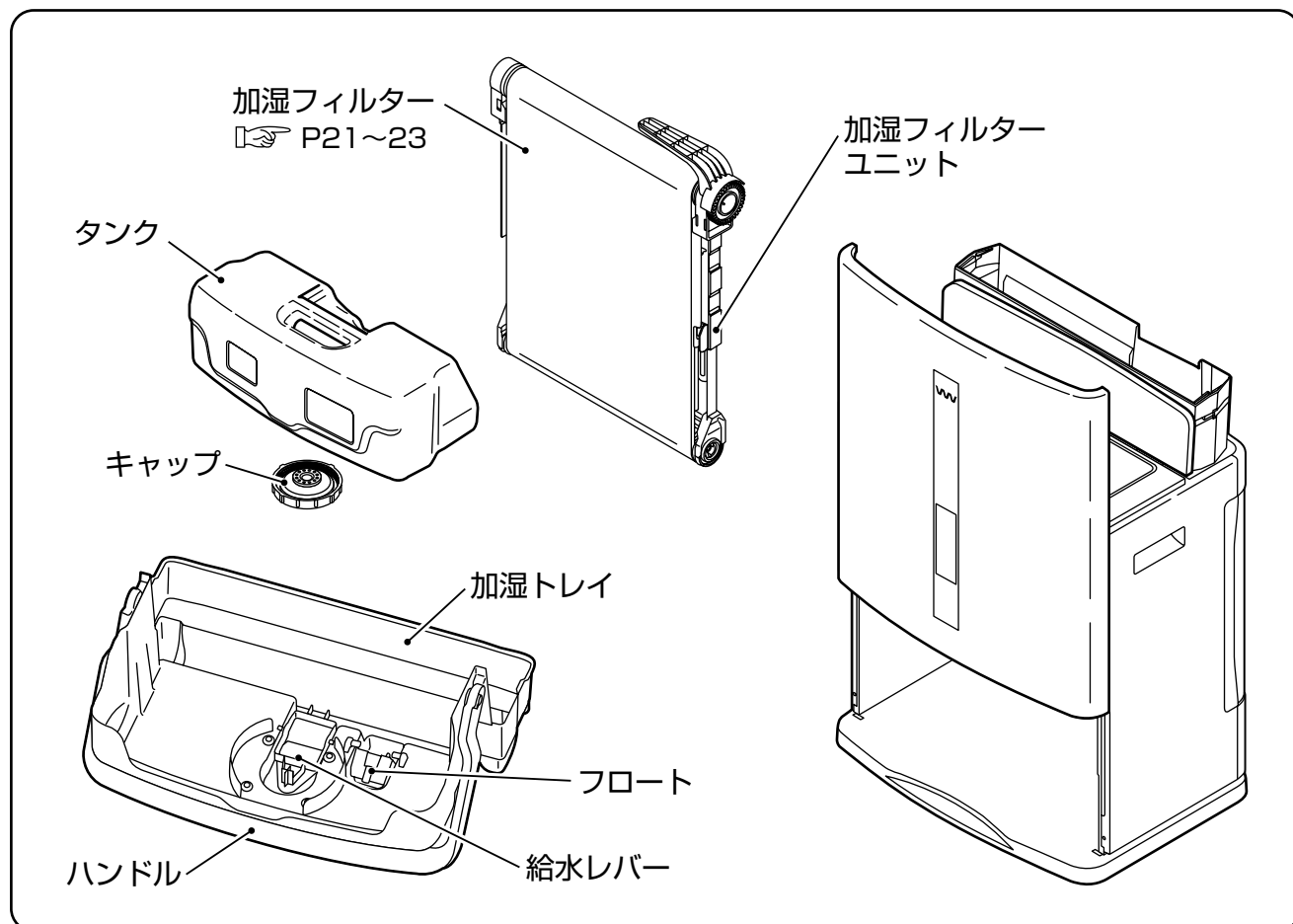
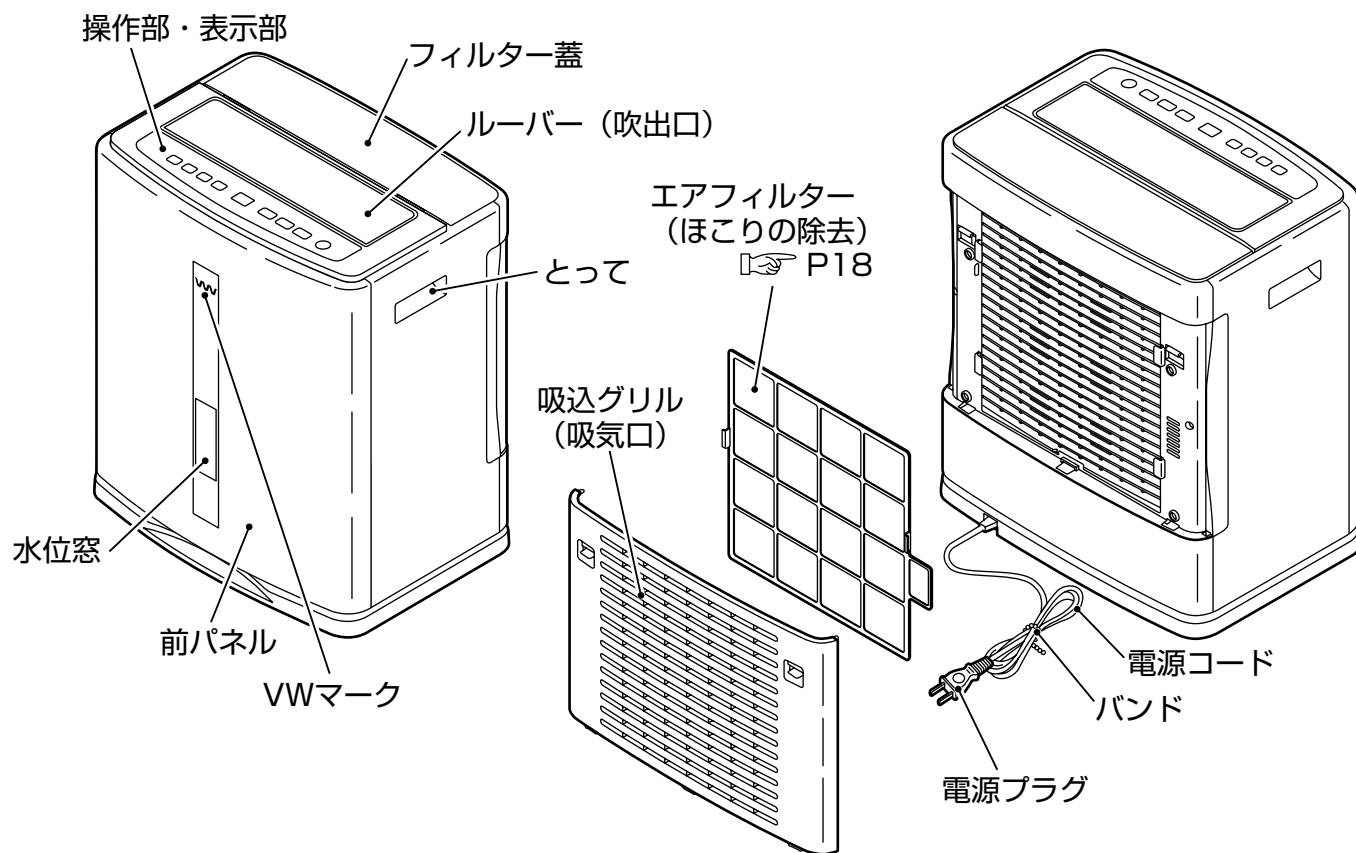
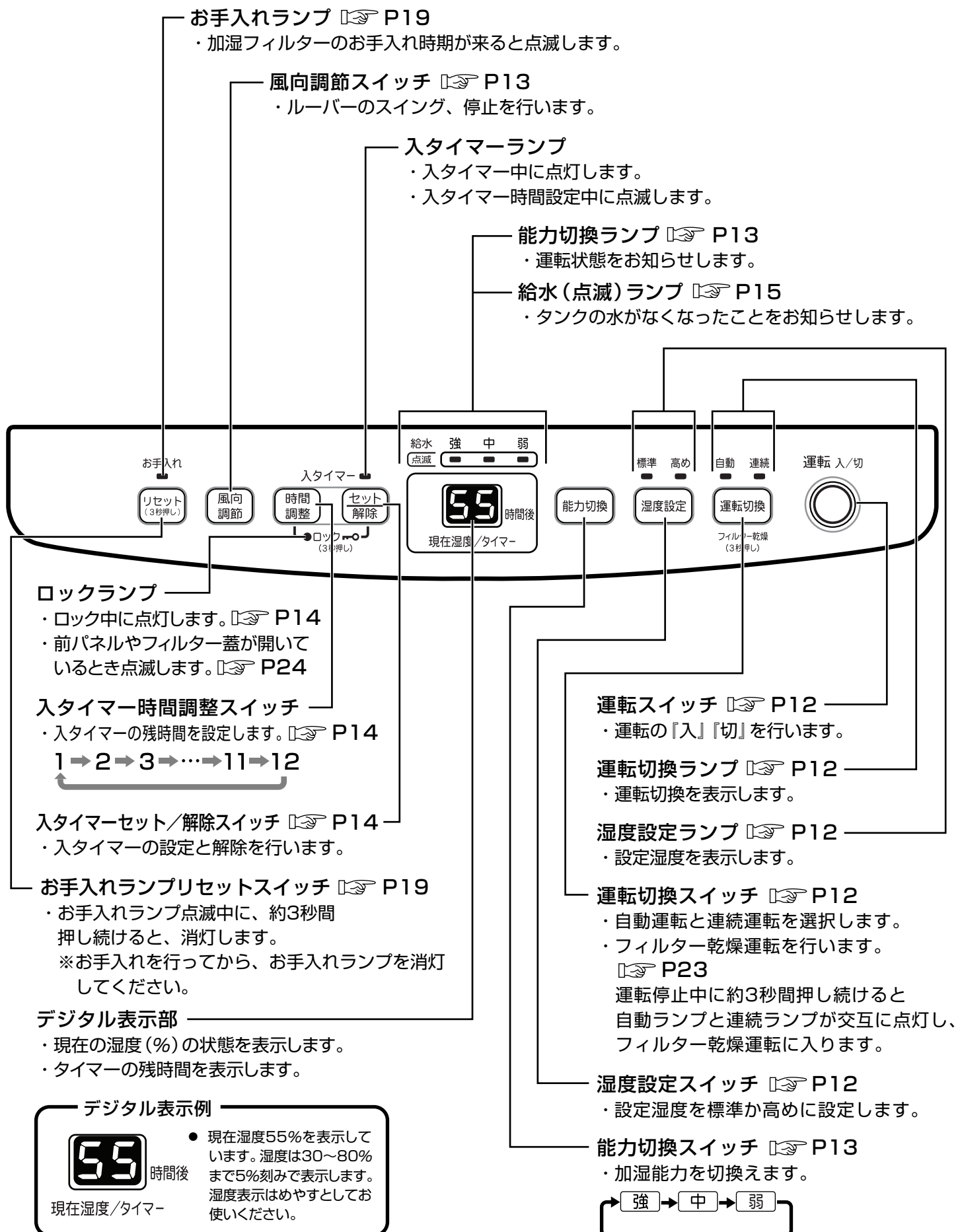
タンク

キャップ

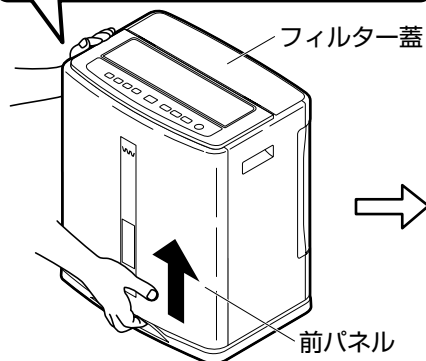
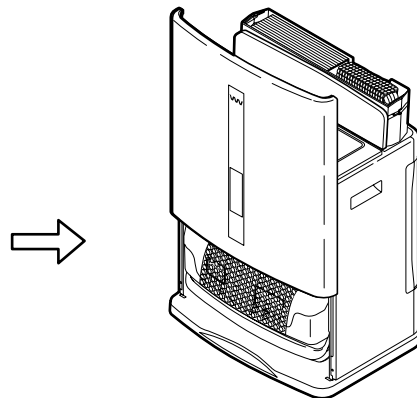
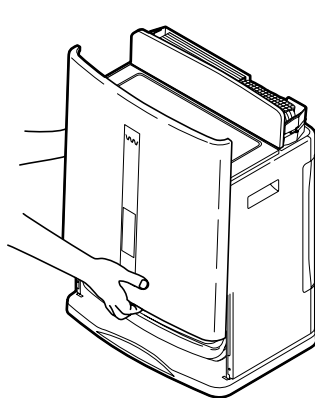
加湿トレイ

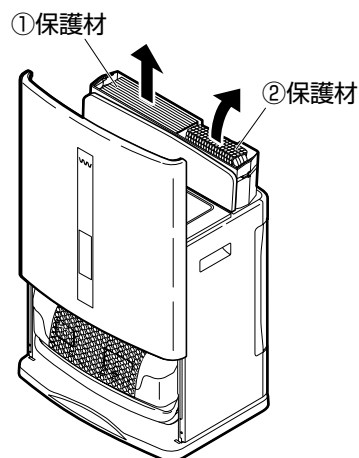
フロート

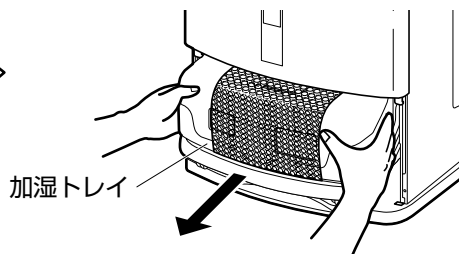
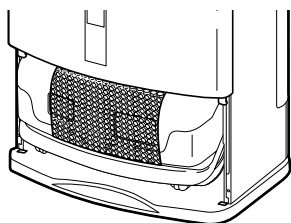
ハンドル

給水レバー

<＜操作部・表示部＞ ※図は説明のため全部「点灯・表示」した状態です。

使う前の準備

1 本体を固定している輸送用テープをはずす。

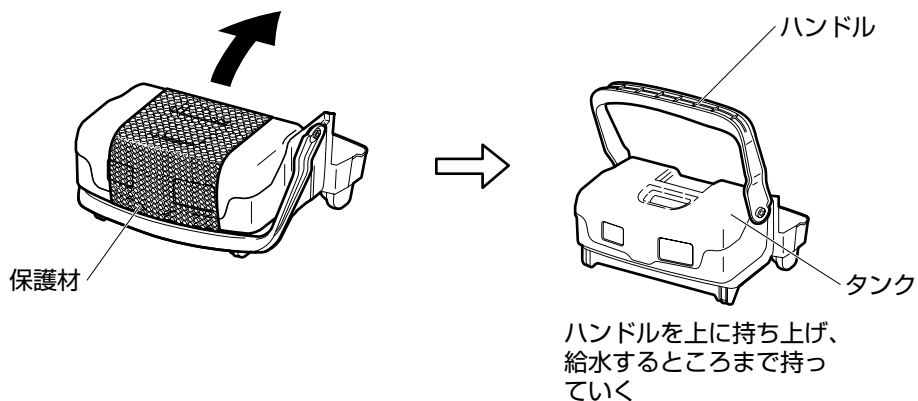
2 前パネルを持ち上げる。

- 前パネルを上に持ち上げる
- 本体が倒れないように、手で押さえてください

前パネルが持ち上がらなくなるまで持ち上げてください。ロックがはたらき、前パネルが下がらなくなります

3 加湿フィルターの保護材①、②をはずす。

4 加湿トレイを引き出す。

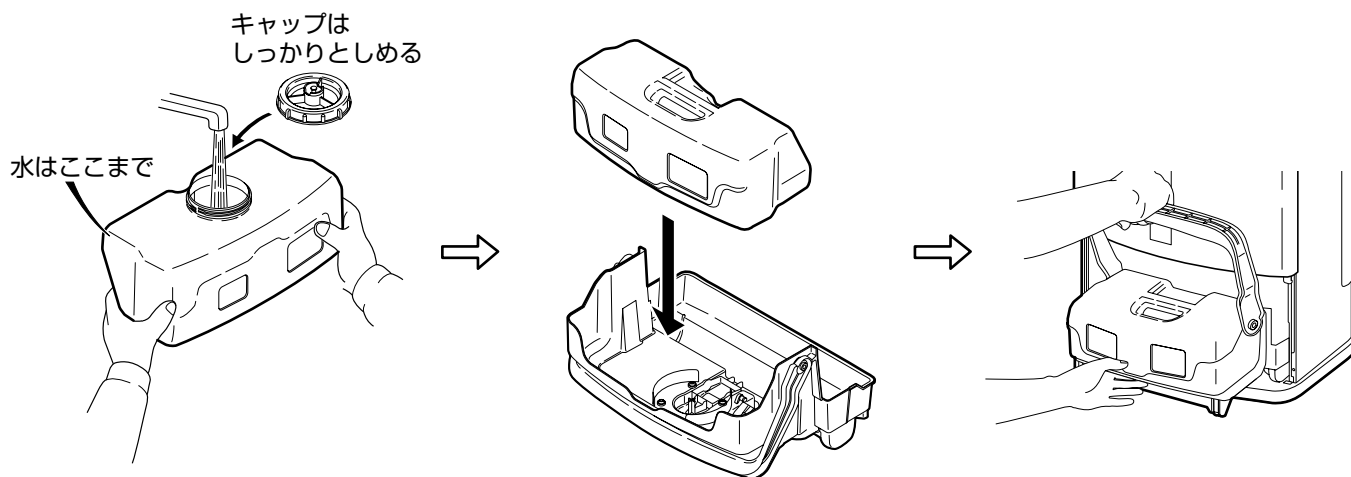
加湿トレイを手前にゆっくり引き出す。

加湿トレイを引き出す

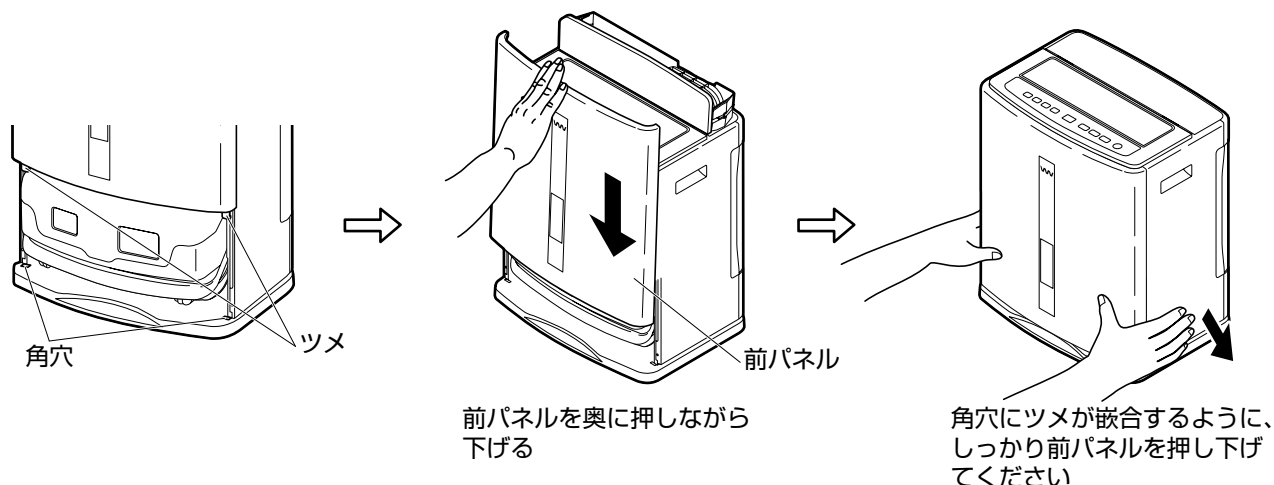
5 加湿トレイとタンクを固定している輸送用テープをはずす。

※加湿トレイ下側の輸送用テープもはずしてください。

6 加湿トレイとタンクの保護材をはずす。

7 タンクへの給水

①タンクに水道水（飲用）を入れたら、キャップをしっかりとしめて、ふたたび加湿トレイを本体にセットしてください。

『必ず水道水（飲用）をご使用ください』をお読みください。☞ P5

②前パネルを下げてください。

※前パネルの下部のツメが置台角穴に確実に嵌合しているか確認してください。

8 電源プラグをコンセントに差し込む
（交流100Vのコンセントを使用）

- 通電後、しばらくすると除菌を開始します。（通電中は定期的に除菌を行います）

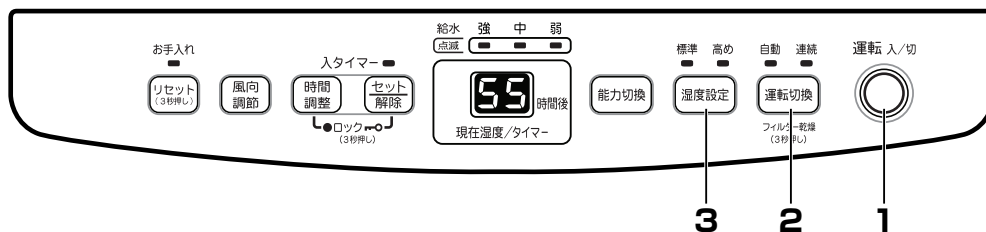
⚠注意 **タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え､常に清潔にしてお使いください。**

- そのまま使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。

お願い！ **給水するときは、必ず加湿トレイの水を捨ててください。加湿量の低下、汚れ、カビ、悪臭などが発生して、加湿フィルターの寿命が短くなることがあります。**

お願い！

- キャップは確実にしめ、水がもれていないことを確認してください。
- 水が入ったタンクを加湿トレイにセットするときや、加湿トレイを本体にセットするときは、静かにセットしてください。加湿トレイや本体が破損し、水もれの原因になります。
- 加湿トレイを引き出すときや本体にセットするときは、本体が動かないように十分注意してください。本体が動くと床に傷が付く場合があります。
- 給水後は、前パネルを押し下げてください。加湿フィルターユニットを無理に押し下げないでください。器具の故障の原因となります。
- 前パネルを押し下げるときに、手などをはさまないように注意してください。
- 前パネルを開けたままにした場合、除菌ができなくなります。給水後は、前パネルを閉じてください。
- 2シーズン目以降、初めてお使いになるときは、必ず本体や各部の点検をしてください。汚れ等が目立つときは、『お手入れのしかた』にしたがってお手入れをしてからお使いください。☞ P18～22

使いかた

1.運転する

を押す。

- デジタル表示部に「5」「4」「3」「2」「1」と表示してから現在湿度（%）を表示します。
- 同時に能力切換ランプと運転切換ランプが点灯します。
- ルーバーが自動で開きます。
- ルーバーの向きは、必ず真上の角度となります。

運転を止める

を押す。

- デジタル表示部や能力切換ランプ、運転切換ランプが消灯します。
- ルーバーが自動で閉じます。

2.運転を切換える

運転中に

を押す。

押すごとに

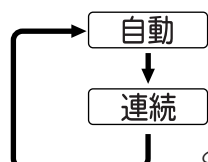
となります。

- 運転切換は自動に初期設定されています。

自動

湿度設定スイッチで設定した設定湿度で自動運転します。
設定湿度が標準の場合には、現在湿度が60%を超えると、加湿が一時停止します。
設定湿度が高めの場合には、現在湿度が70%を超えると、加湿が一時停止します。

連続

能力切換スイッチで設定した加湿能力で連続運転します。
現在湿度が80%を超えると、加湿が一時停止します。

3.湿度設定を切換える

自動運転中に

を押す。

押すごとに

標準 → 高め

となります。

- 湿度設定は標準に初期設定されています。

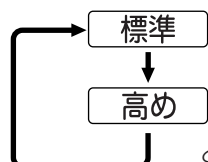
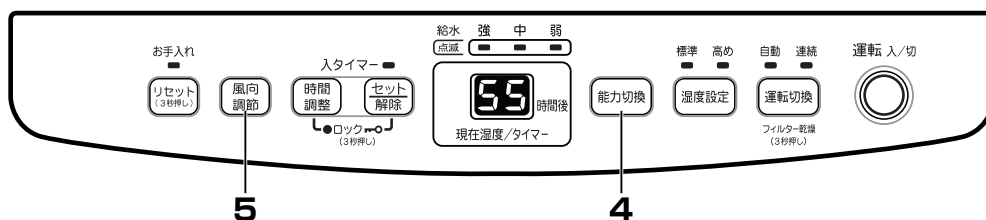
標準

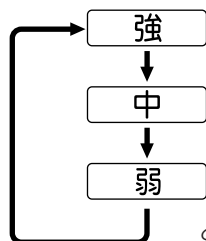
設定湿度50%～55%で自動運転します。

高め

設定湿度60%～65%で自動運転します。

- 運転切換スイッチで連続を選択しているときは、湿度設定はできません。

お知らせ

- 電源プラグを抜くと、運転切換・湿度設定・能力切換・入タイマー・ロックの設定は、全て初期設定に戻ります。
- ルーバーが開閉するときに、カタカタと音がすることがありますが、故障ではありません。

4.加湿能力を切換える

運転中に

能力切換 を押す。

- 能力切換は強に初期設定されています。

自動運転が選択されているとき

強

設定湿度スイッチで設定した湿度を目標に自動運転します。 強 ランプが点灯します。

中

設定湿度スイッチで設定した湿度を目標に自動運転します。 中 ランプが点灯します。加湿能力を約25%おさえて運転をします。

弱

設定湿度スイッチで設定した湿度を目標に自動運転します。 弱 ランプが点灯します。加湿能力を約50%おさえて運転をします。

- 湿度設定が標準の場合には、現在湿度が60%を超えると、加湿が一時停止します。
- 湿度設定が高めの場合には、現在湿度が70%を超えると、加湿が一時停止します。

連続運転が選択されているとき

強

湿度に関係なく最大能力で加湿運転します。

中

湿度に関係なく中能力で加湿運転します。

弱

湿度に関係なく弱能力で加湿運転します。

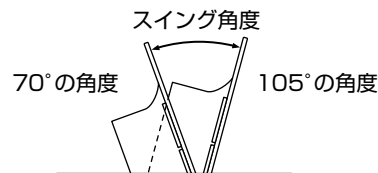
- 現在湿度が80%を超えると、加湿が一時停止します。

5.風向を調節する

1 運転中に 風向調節 を押す。

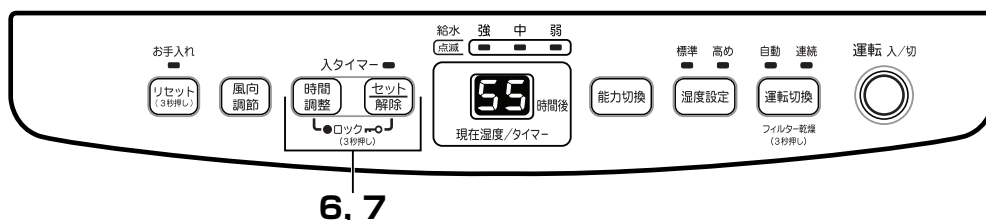
- ルーバーがスイングを開始します。
- ルーバーは70°の角度から105°の角度までスイングします。

スイング角度　70°の角度　105°の角度

2 お好みの角度でルーバーを止めたいときは 風向調節 を押す。

- ルーバーが停止します。
- 運転開始やスイングを開始して、約10秒間は風向の調節はできません。

※ルーバーをスイングやお好みの角度で使用していても、運転を停止して再運転すると、真上の角度になります。

お願い！

- 運転すると、ルーバーは自動で開きます。手で動かすとルーバー駆動用モーターの故障の原因となりますので、手で動かさないでください。
- スイング中に手が触れるなどで、ルーバー位置が正常なスイング角度からはずれた時は風向調節スイッチを2回押してください。ルーバーが正常な位置に戻ります。

6.入タイマー予約

12時間の範囲でご希望の時間に運転を開始します。

タイマー予約は、運転中、停止中どちらでもできます。

1 [セット解除] を押す。

- [入タイマー]ランプが点滅して、デジタル表示部に残時間が表示されます。
- 水位窓のバックライトが点滅します。

2 残時間を変更したいときは [時間調整] を押す。

- 1時間単位で残時間を変更できます。 1➡2➡3➡…➡11➡12
- [セット解除]または、[時間調整]の操作終了から約5秒後に、[入タイマー]ランプが点滅から点灯に変わり、タイマーが予約されます。デジタル表示部は湿度表示または消灯に戻ります。

3 解除するときは [セット解除] を押す。

- [入タイマー]ランプが消灯します。

タイマー予約中の残時間の確認・変更

4 タイマー予約中に [時間調整] を押す。

- [入タイマー]ランプが点滅になり、デジタル表示部に残時間が表示されます。

5 再度残時間を変更するときは [時間調整] を押す。

- 1時間単位で残時間を変更できます。
- 時間を変更しなかった場合は、以前の設定が継続されます。

7.ロック

すべての操作を無効にします。

1 [時間調整] と [セット解除] を同時に約3秒間押す。

- [ロック]ランプが点灯します。
- ロックをセットするとすべての操作ができません。

2 解除するときは、再度 [時間調整] と [セット解除] を同時に約3秒間押す。

- [ロック]ランプが消灯します。

※[時間調整]を先に押してください。[セット解除]を先に押すと入タイマー予約になることがあります。

お知らせ

- 入タイマー予約をすると、水位窓のバックライトが一定時間点滅します。タンクの水が少ないと十分な運転ができない場合がありますので、水位を確認してください。

使いかた

タンクの水がなくなると

タンクの水がなくなると、自動的に運転を停止し、給水ランプの**点滅とメロディ**でお知らせします。

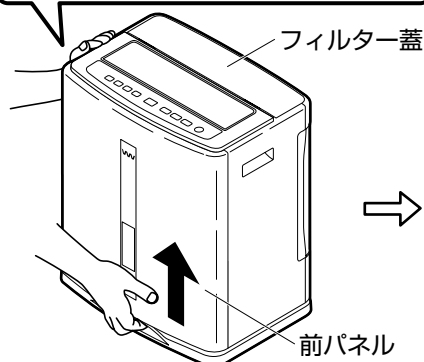
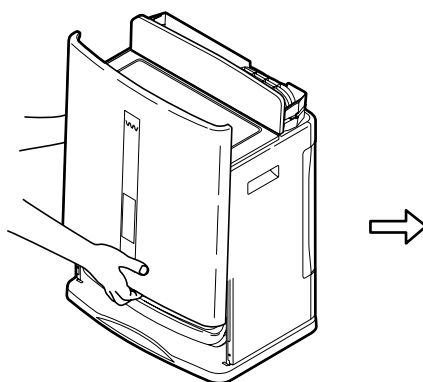
加湿トレイの水を捨ててタンクに水道水を給水し、本体にセットして 運転入/切 を入れなおしてください。

ランプの明るさを暗めの設定にしたときは『中』ランプのみの点滅となります。

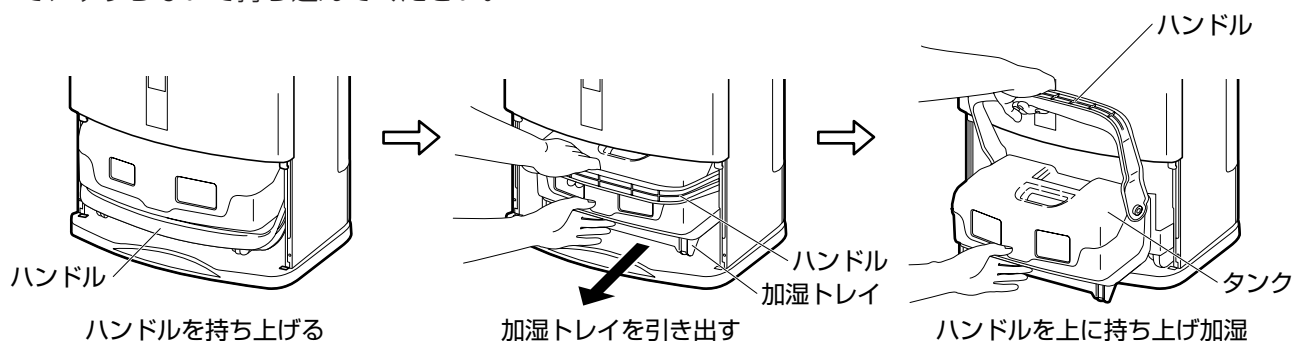
お知らせ

● 水位窓の見え方（光り方）は、設置場所や水量によって変化しますので、水位が分かりにくいことがあります。

タンクへの給水のしかた

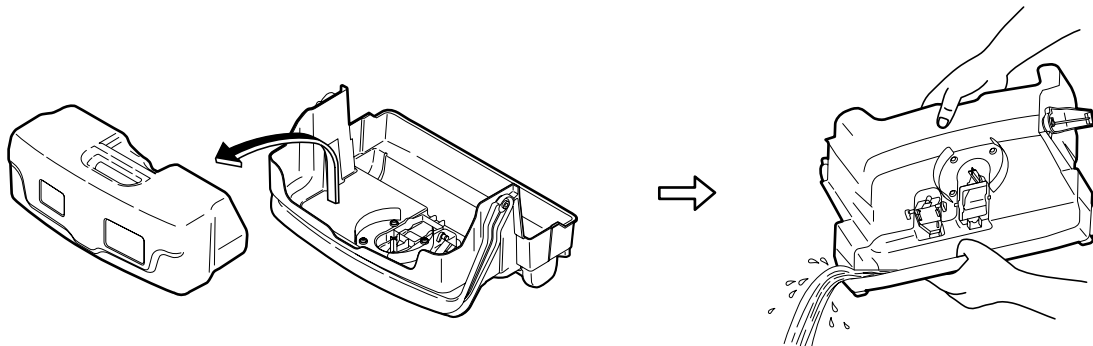
1 前パネルを持ち上げる。

● 前パネルを上に持ち上げる
● 本体が倒れないように、手で押さえてください

前パネルが持ち上がらなくなるまで持ち上げてください。ロックがはたらき、前パネルが下がらなくなります

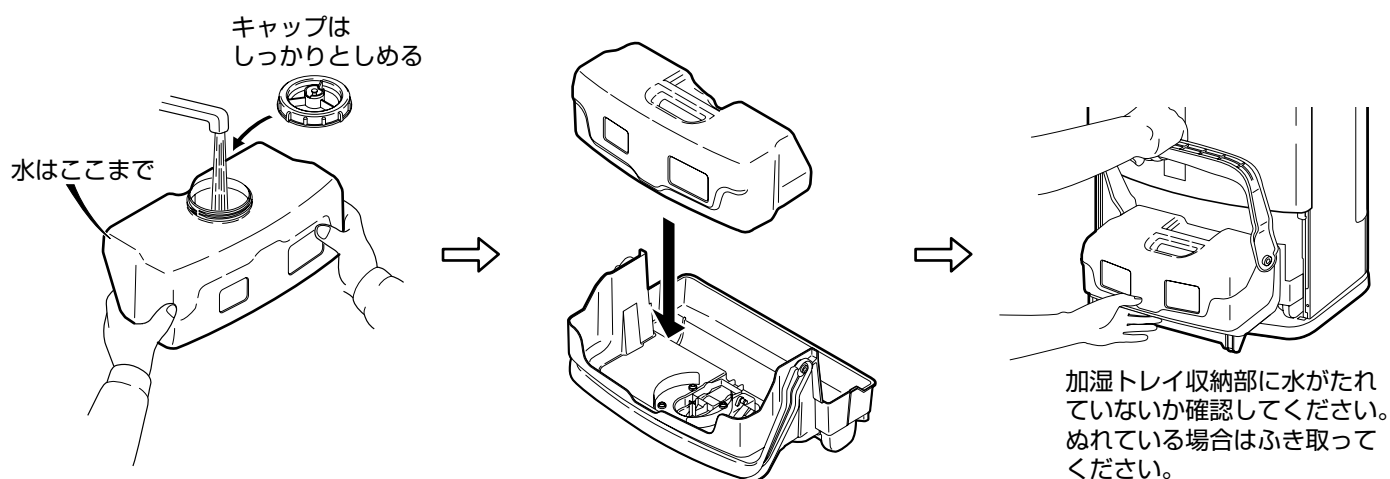
2 加湿トレイのハンドルを持ち、もう一方の手で加湿トレイを支えながら手前にゆっくり引き出す。

※加湿トイレ内の水がこぼれる場合があるので、加湿トレイはゆっくり引き出し、ハンドルをしっかり持って、ゆすらないで持ち運んでください。

ハンドルを持ち上げる

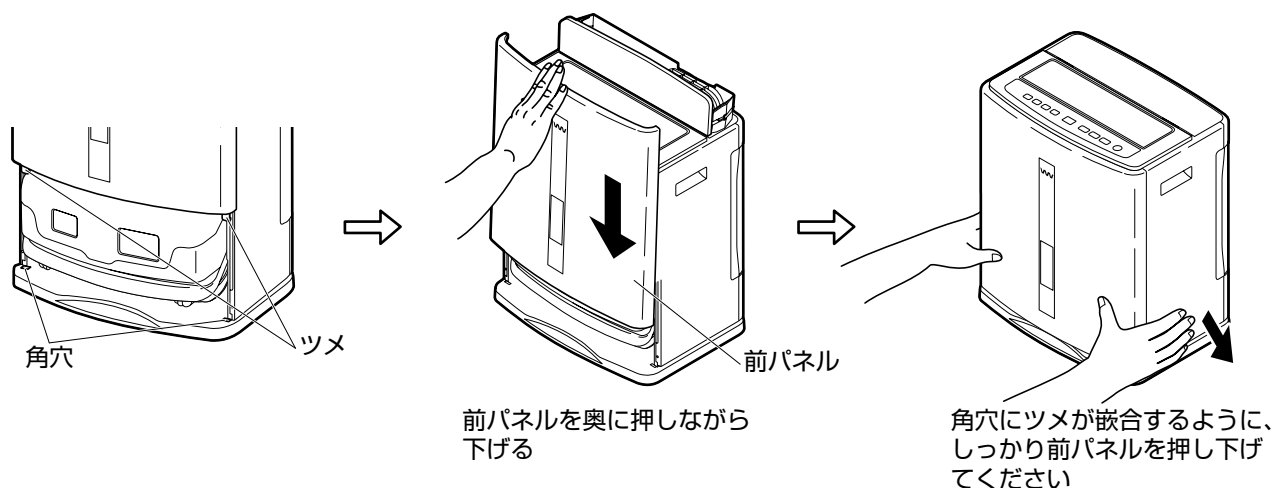
加湿トレイを引き出す

ハンドルを上に持ち上げ加湿トレイごとタンクを給水するところまで持っていく

3 加湿トレイからタンクを抜き、加湿トレイの水を捨てる。

4 タンクに水道水（飲用）を入れたら、キャップをしっかりとしめて、ふたたび加湿トレイを本体にセットしてください。

『必ず水道水（飲用）をご使用ください』をお読みください。☞ P5

5 前パネルを下げてください。

※前パネルの下部のツメが置台角穴に確実に嵌合しているか確認してください。

お願い！

- 給水するときは、必ず加湿トレイの水を捨ててください。加湿量の低下、汚れ、カビ、悪臭などが発生して、加湿フィルターの寿命が短くなることがあります。
- 加湿トレイを引き出すときや本体にセットするときは、本体が動かないように十分注意してください。本体が動くと床に傷が付く場合があります。
- 前パネルを開けたままにした場合、除菌ができなくなります。給水後は、前パネルを閉じてください。

ランプの明るさの設定について

操作部のデジタル表示部（現在湿度）および全てのランプ、VWマークと水位窓のバックライトの明るさは、暗めの設定や消灯に変更することができます。
運転停止中に［セット解除］と［湿度設定］を同時（［湿度設定］を先に押してください。［セット解除］を先に押すと入タイマー予約になることがあります。）に約3秒間押すと、下のように設定が変わります。

操作部、VWマークと水位窓のバックライトが暗め
↓
操作部が暗め、VWマークと水位窓のバックライトが消灯
↓
操作部、VWマークと水位窓のバックライトが通常の明るさ
（最初に戻る）

なお、この設定は電源プラグを抜いても初期設定には戻りません。

メロディの消しかた

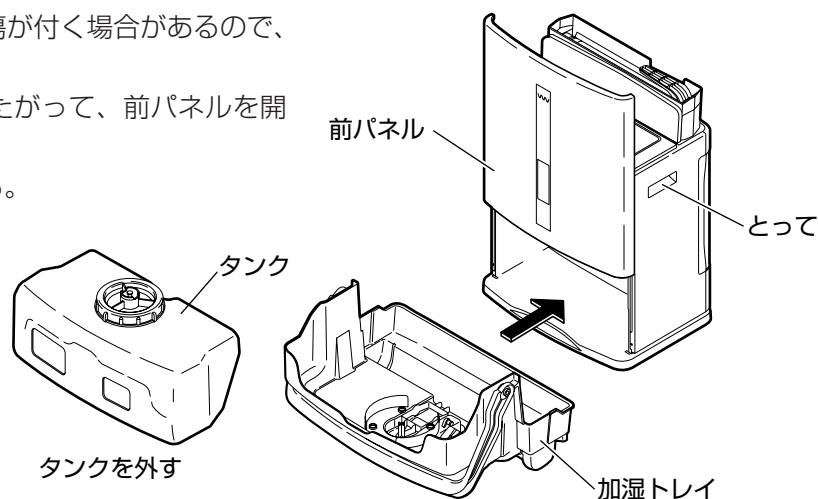
タンクの水がなくなった時にお知らせするメロディを消すことができます。
運転停止中に［セット解除］と［能力切換］を同時（［能力切換］を先に押してください。［セット解除］を先に押すと入タイマー予約になることがあります。）に約3秒間押してください。
なお、この設定は電源プラグを抜いても解除されません。解除するときは、再度同じ操作をしてください。

お知らせ

- 給水のメロディは、約6秒間鳴ります。途中でメロディを止めたいときは、運転スイッチを押してください。
  （この時、給水ランプも消えます）
- **給水ランプが点滅した場合、除菌ができなくなりますので、できるだけ早めに水道水（飲用）を給水してください。**
- 運転中以外のときでも、タンクに水が入っている場合は**電源プラグを抜かないでください。**
  電解水除菌システムが働かないため、カビや雑菌が繁殖して悪臭の原因になります。
  また、お手入れの時期を正しくお知らせすることができません。
  ただし、移動などのために一時的に電源プラグを抜いても支障ありません。

本体を持ち運ぶときは

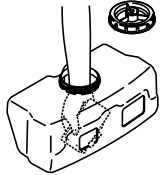
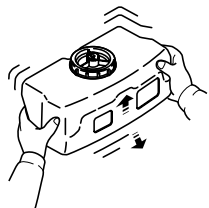
本体を持ち運ぶときは、本体内の水がこぼれる場合があるので、十分注意して移動してください。また、本体を引きずると床に傷が付く場合があるので、十分注意して移動してください。

1. P15～16の「タンクへの給水のしかた」にしたがって、前パネルを開けて、加湿トレイとタンクを取り出す。
2. タンクを抜き、加湿トレイを本体に再セットする。
3. 前パネルを閉じる。
4. とってをしっかり持ち、ゆすらないように持ち運んでください。

お手入れのしかた

お手入れは定期的に行ってください。汚れがひどくなると加湿量の低下や故障・悪臭の原因になります。

⚠警告　お手入れのときは電源プラグを抜く
タンク、本体のお手入れには塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない

タンクのお手入れ（毎日）

少量の水を入れ、キャップをしめて振り洗いをし、常に清潔にしてください。
給水は必ず水道水（飲用）を使用してください。

汚れがひどい場合はタンクの中を直接洗うこともできます。
※ネジの端面などで手をケガしないようゴム手袋の着用をお勧めします。

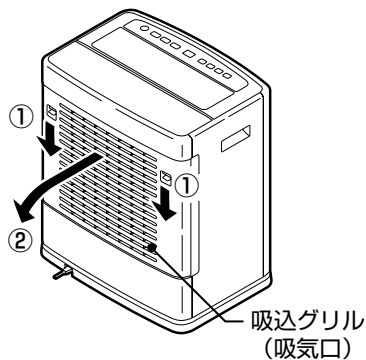
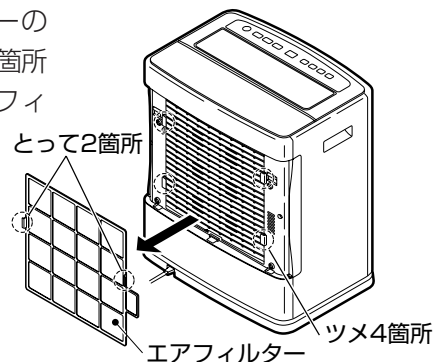
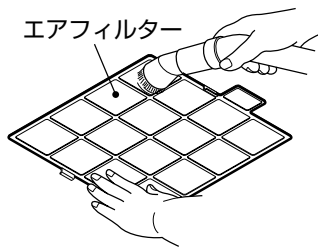
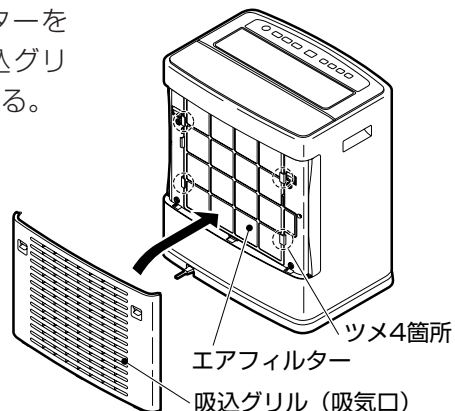
本体のお手入れ（汚れたら）

- 水に浸した柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、固くしぼってから汚れを拭きとった後、水ぶきをしてください。

お願い！

- 変形、変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルカリ洗剤、クレンザーなどは使用しないでください。
  また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きにしたがってください。

エアフィルターのお手入れ（1週間に1～2回）

1　吸込グリルのツメを①のように押し下げ、②のように手前にはずす。

2　エアフィルターの両側のとって2箇所を持ち、エアフィルターをはずす。

3　掃除機でほこりを取り除く。
※使い続けるうちに変色することがありますが、使用上の不具合はありません。
※よごれがひどいときは水洗いをしてください。水洗いした後は、水をよく切り日陰でよく干してください。

4　エアフィルターを元に戻し吸込グリルを取り付ける。

お願い！

- エアフィルターの汚れがひどくなると加湿量が少なくなったり、正しく湿度表示ができなくなります。
  1週間に1～2回は必ずお手入れをしてください。
- エアフィルターをはずしたまま使用しないでください。故障の原因になります。

お手入れのしかた

お手入れランプが点滅したら（2週間に1回程度）

電源プラグを差し込んでから、およそ2週間経過するとお手入れランプが点滅して、加湿フィルターと加湿トレイのお手入れ時期をお知らせします。
※お手入れランプが点滅しても運転は停止しません。

1 **電源プラグを抜く**
電源コードを束ねて、付属のバンドで固定してください。

2 **前パネルを持ち上げる**
ロックがはたらくまでしっかり持ち上げてください。

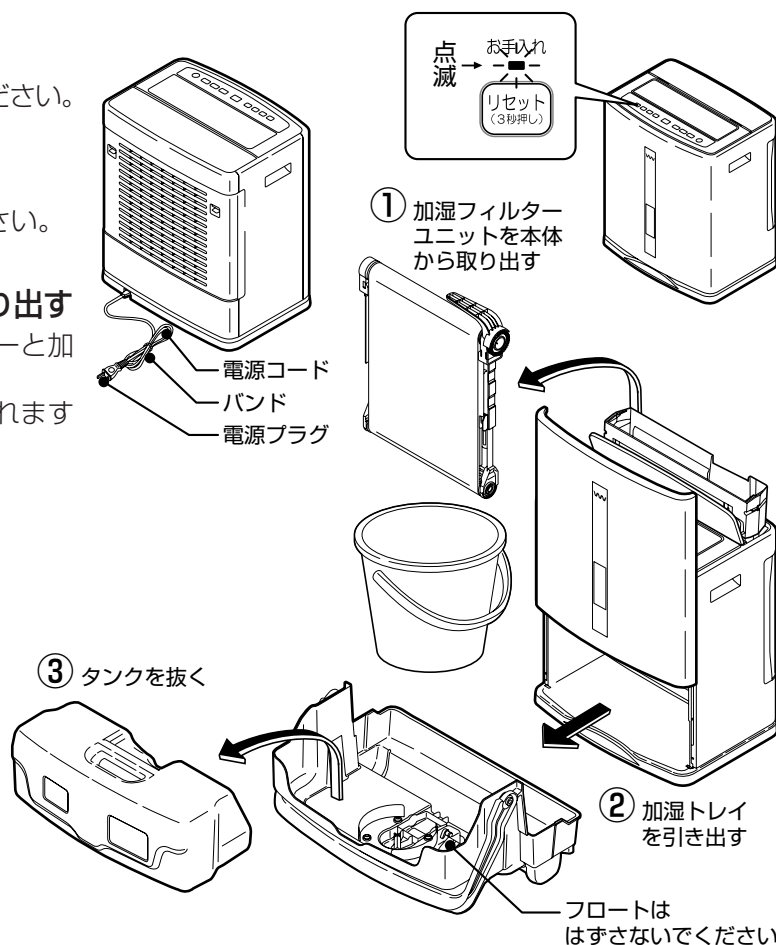
3 **加湿フィルターユニットと加湿トレイを取り出す**
右図の①～③の手順にしたがって加湿フィルターと加湿トレイを取り出してください。
※加湿フィルターは水分を含んでいて、水がたれますので、容器の上で取り出してください。

4 **加湿フィルターをお手入れする**
☞ P21～23

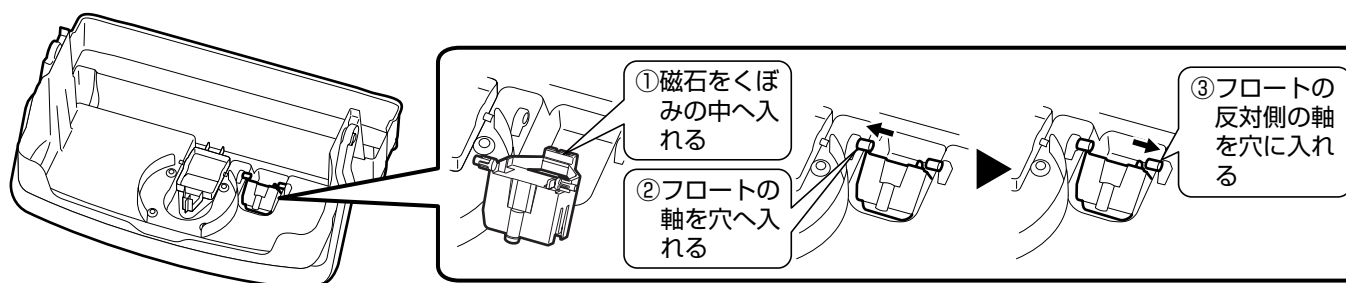
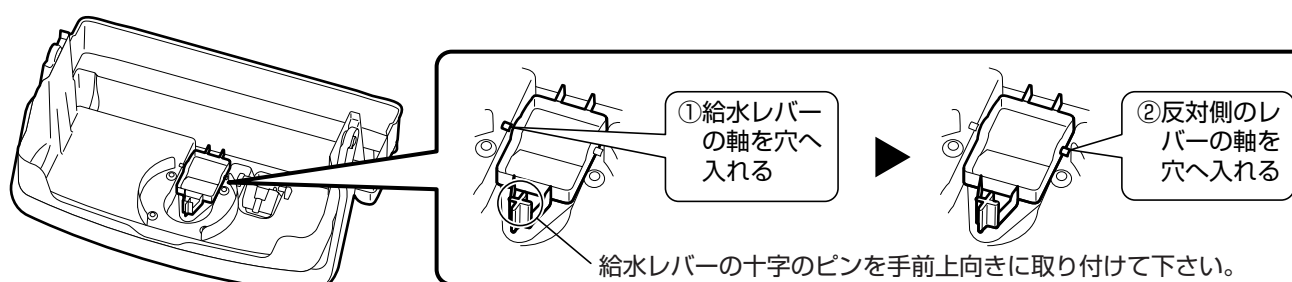
5 **加湿トレイに残った水を捨てる**

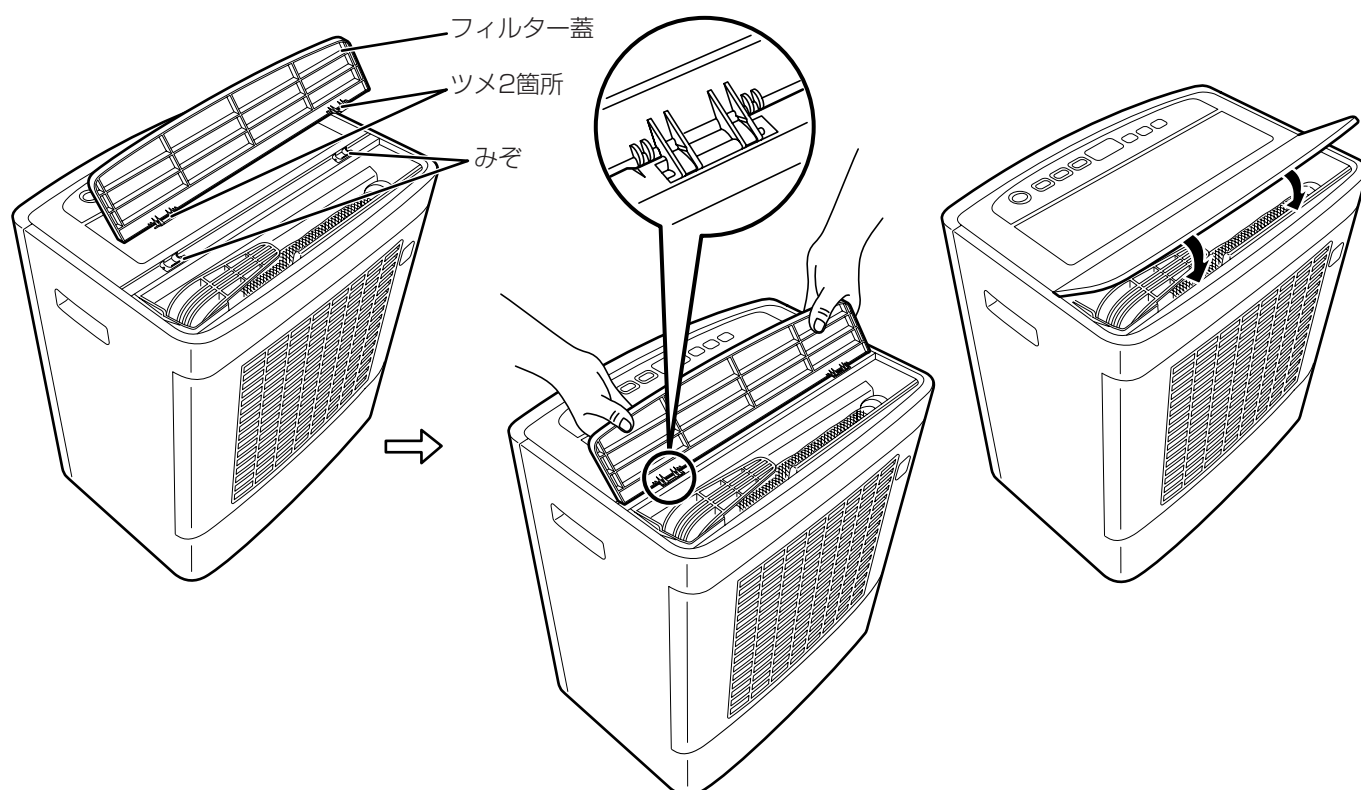
6 **加湿トレイをお手入れする**
水に浸した柔らかい布で水あか等の汚れを取り除いてください。

7 **部品を元どおりセットする**
お手入れが終わったら部品を元どおりにセットし、
電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。前パネルを下げるとき、
前パネル下部のツメが置台角穴に確実に嵌合しているか確認してください。

8 **お手入れランプをリセットする**
お手入れランプリセットスイッチを約3秒間押してください。お手入れランプが消灯します。

お知らせ

- 使い続けるうちに加湿フィルターが変色しますが、これは水道水中の不純物（鉄・カルシウム・マグネシウム等）や空気中のほこり等によるものですので、使用上の不具合はありません。
- 加湿フィルターの汚れ具合は、水質等の違いや地域によって異なります。また、使用頻度によっても異なりますので、お手入れランプはめやすとしてご利用ください。
- 加湿フィルターにほこりが多く付着すると、カビが発生しやすくなります。こまめに洗浄し、汚れがひどい場合は別売品の交換用加湿フィルターと交換してください。☞ P23
- 前パネルを下げるときは、フィルターを押しても下がらないので、前パネルを押し下げてください。
- 前パネルを開閉するときに、前パネルと本体の間に手をはさまないように十分注意してください。

フロートがはずれたとき

給水レバーがはずれたとき

フィルター蓋がはずれたとき

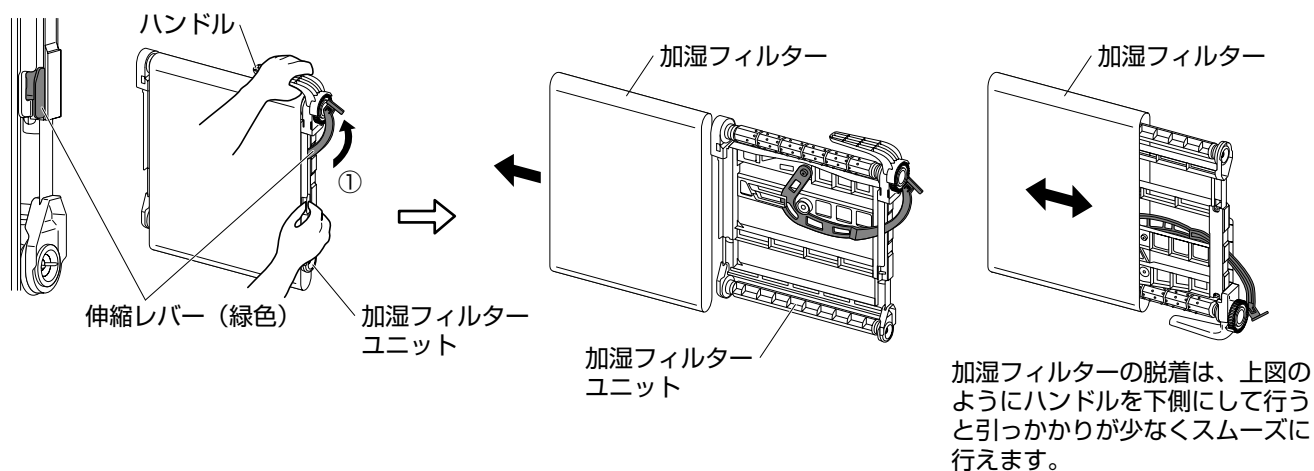
①フィルター蓋のツメを本体のみぞにセットする。
②フィルター蓋を押し込む。

フィルター蓋
ツメ2箇所
みぞ

お手入れのしかた

加湿フィルターのお手入れ

1 加湿フィルターを取り出す

①加湿フィルターユニットのハンドルを持ち、伸縮レバー（緑色）を①のようにロックするまで引き上げてください。
加湿フィルターユニットが上下に縮みフィルターが弛みます。
②加湿フィルターを取り出します。

加湿フィルターの脱着は、上図のようにハンドルを下側にして行うと引っかかりが少なくスムーズに行えます。

2 加湿フィルターを洗う

通常のお手入れ

①容器に水を入れ、加湿フィルターを手でもみ洗いしてください。
②加湿フィルターをかたく絞り、シワを伸ばし形を整えてください。

汚れがひどい・臭いがする場合のお手入れ

①加湿フィルターを洗剤でもみ洗い、または台所用（塩素系）漂白剤でつけ置き洗いをしてください。
②洗濯後は、洗剤や漂白剤成分が残らないように水で充分にすすいでください。
③加湿フィルターをかたく絞り、シワを伸ばし形を整えてください。
※台所用漂白剤は、ふきんやおしぼりと同程度の濃度とし30分くらいつけてください。
ただし、台所用漂白剤でつけ置き洗いしても、水道水中のカルキ分（鉄・カルシウム・マグネシウム等）による加湿フィルターの変色や硬化は元には戻りません。

加湿フィルターは洗濯機による洗濯もできます。ただし、カルキ分が残ることがあります。

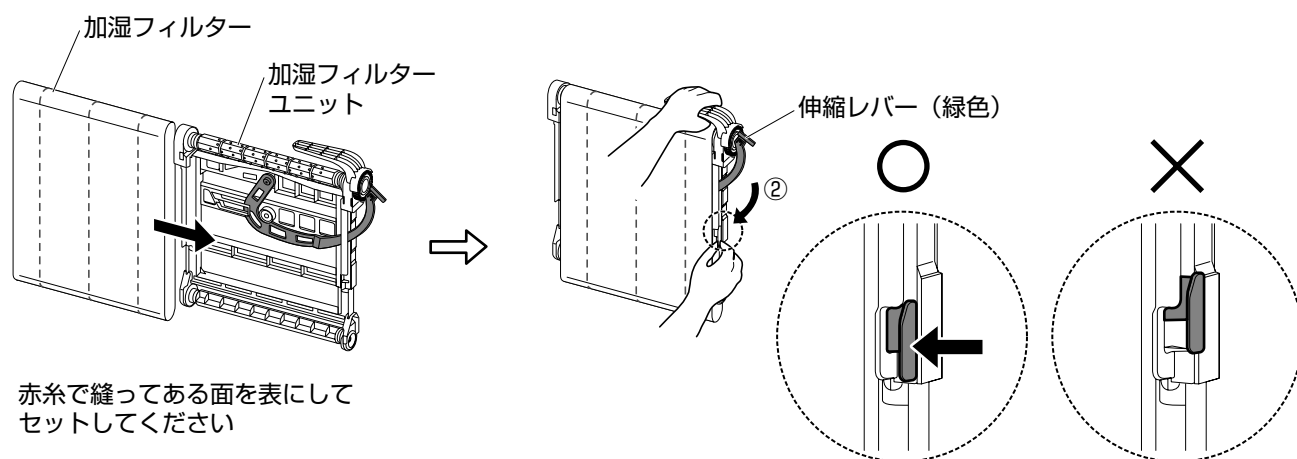
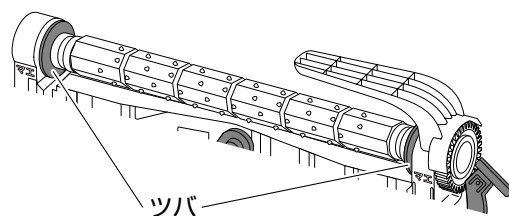
通常のお手入れ

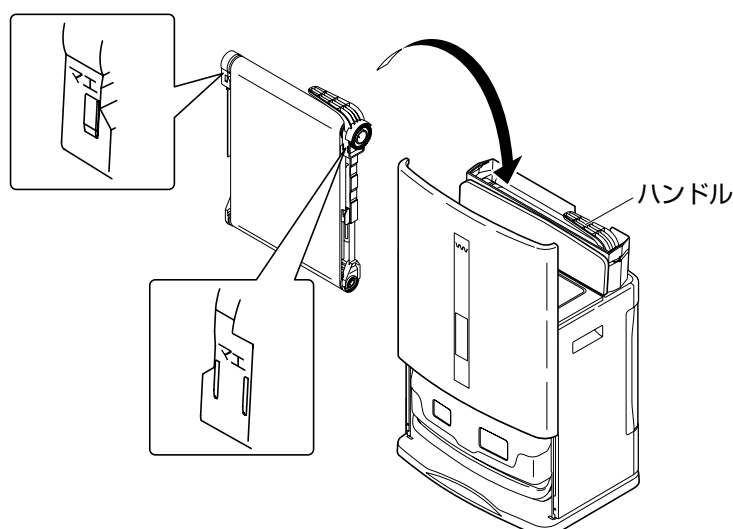
①洗濯機で10分程度洗濯してください。（洗剤は入れません）
②脱水を1分程度行い、脱水後加湿フィルターのシワを伸ばし形を整えてください。

汚れがひどい場合のお手入れ

①洗濯機に洗剤を適量入れて15分程度洗濯してください。
②洗濯後は、洗剤が残らないよう充分にすすぎ洗いを行ってください。
③脱水を1分程度行い、脱水後加湿フィルターのシワを伸ばし形を整えてください。
※お風呂の残り湯は使用しないでください。変色や臭いの原因になります。
※乾燥機や洗濯機の乾燥機能の使用は避けてください。生地を傷めたり縮みの原因になります。
※漂白剤や柔軟剤、洗濯のりの使用は避けてください。
※汚れが落ちにくい場合はさらに手でもみ洗いをすると効果的です。

3 加湿フィルターを元に戻す

①加湿フィルターを加湿フィルターユニットに取り付けます。（表裏に注意してください）
加湿フィルターがシワにならないように均等にセットしてください。
②加湿フィルターユニットの伸縮レバー（緑色）を②のように元に戻してください。
※伸縮レバーは出っ張らないようにユニット本体にしっかり戻してください。
※フィルターユニットの伸縮レバーが出っ張っていると本体に取り付きません。確実にセットしてください。

③加湿フィルターを加湿フィルターユニットの両端のツバの内側にセットして、加湿フィルターを一周以上回転させ、ツバに乗り上げないことを確認してください。

4 加湿フィルターユニットを元に戻す

右図のようにハンドルを右側にしフィルターユニットを本体に取り付けます。
※フィルターユニットの向き（“マエ”表示を手前）に注意してください。

加湿フィルターユニットを取り付ける際は、図のようにハンドルを右側にして取り付けてください。

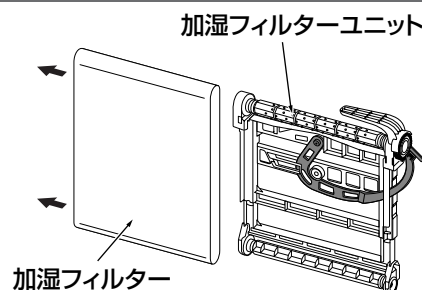
お知らせ

- 漂白剤は塩素系漂白剤を使用してください。
- クエン酸は使わないでください。
- 異なる種類の漂白剤を混ぜないでください。

加湿フィルターの交換のしかた

- 交換時期のめやすは60ヶ月（1日8時間運転の場合）です。
- 使用条件（水質や使用時間など）によって交換時期は異なります。
- 次のような状態になったときは、交換してください。
  - お手入れをしても、においや水あかが取れないとき。
  - 傷みや型くずれがひどいとき。
  - タンクの水の減りが極端におそくなったとき。

加湿フィルターの交換

1. 19ページの『お手入れランプが点滅したら』を参照し、加湿フィルターユニットを取り出します。
2. 21、22ページの「加湿フィルターのお手入れ」を参照し、加湿フィルターを取り出します。
3. 別売品の加湿フィルターを箱から出して加湿フィルターユニットに取り付けます。
4. 加湿トレイに残った水を捨ててください。
5. 加湿フィルターを元どおりに、本体の中へセットします。

お願い！

- 使用済みの加湿フィルターは、水をよく切ってから一般ゴミとして捨ててください。

交換用加湿フィルター

機 種 名	品　番	価格（税込）
RH-VWX12C	RH-F12C	7,560円

2009年11月現在の価格です。

加湿フィルターは別売品となっております。お買いあげの販売店でご購入ください。

保　管（長期間使用しないとき）

1. 電源プラグを抜く

2. お手入れをする

- 18〜22ページの『お手入れのしかた』にしたがって、掃除をした後、**各部の水気をよく拭き取り、じゅうぶん乾燥させてください。**

※湿ったまま保管するとカビが発生する原因になります。特に加湿フィルターは、水をよく切った上で下記3.の『フィルター乾燥運転』を行い、**じゅうぶんに乾燥させてください。**

3. フィルター乾燥運転を行う

- タンク、および加湿トレイの水を捨ててください。
- 電源プラグを入れてください。
- 水をよく切った加湿フィルターを本体にセットします。
- 運転切換スイッチを約3秒間押し続けると、自動ランプと連続ランプが交互に点灯し、フィルター乾燥運転に入ります。
  ※フィルター乾燥運転は、約2時間で自動的に終了します。
- 電源プラグを抜いてください。

4. 湿気の少ないところに保管する

- 加湿器の入っていた箱に入れるか、ポリ袋に入れて湿気の少ないところに保管してください。

お願い！

- フィルター乾燥運転をしても加湿フィルターの乾燥が不十分なときは、もう一度フィルター乾燥運転を行ってください。

故障かな？と思ったら

⚠警告　分解修理・改造の禁止

● 分解修理・改造はしないでください。
　火災・感電・けがの原因になります。

エラーのお知らせ（デジタル表示とブザー音でお知らせします。）

エラー表示	原因	処置方法
H0	水道水以外の水が給水された	除菌ができなくなるためタンクと加湿トレイの水を捨て、水道水を入れてから、電源を入れなおしてください。 ☞P11
	フロートが引っ掛かっている	フロートの周りのゴミを取り除いてから、電源を入れなおしてください。
	器具の故障	上の処置をしても正常に戻らないときは運転を止め、電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。
HA HC Hd HH HL A8 H1 HE AC E5	器具の故障	運転を止め、電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

次の状態は故障ではありません

分解修理を依頼される前に、次のことをもう一度ご確認ください。それでもなおらない場合は、電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

症状	原因	処置方法
運転スイッチを操作してもすべてのランプが点灯しない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか	電源プラグを根元まで確実に差し込み、運転スイッチを操作してください。 ☞P11～12
給水ランプが点滅している	タンクに水が入っていない	タンクに水道水（飲用）を入れてください。 ☞P15
タンクに水が入っているのに給水ランプが点滅している	加湿トレイが確実にセットされていますか	加湿トレイを確実にセットしてください。 ☞P19
	フロートが引っ掛かっていませんか	フロートの周りのごみを取り除いてください。 ☞P19
	給水レバーが正常にセットされていますか	給水レバーを正常にセットしてください。 ☞P20
	本体が傾いていませんか	水平で安定したところに設置してください。
吹出口からの送風がにおう	古い水を使用していませんか	「お手入れのしかた」にしたがって、器具の掃除をし、新しい水道水（飲用）と入れ替えてください。 ☞P18～22
	加湿フィルターや加湿トレイに水あかやごみがたまっていませんか	
現在湿度を表示し、運転が停止している	部屋の湿度が高くなりすぎたためです	湿度が下がると、自動的に運転を再開します。
塩素の臭いがする	電解水除菌システムによるものです	故障ではありませんのでそのままご使用ください。
現在湿度表示が他の湿度計の値と違う	エアフィルターにゴミがたまっていませんか	エアフィルターを掃除してください。 また、同じ部屋でも場所によって湿度は異なるため、差が出る場合があります。 ☞P18
	運転開始直後に正しい湿度が表示できない場合があります	約30分たってから再度、確認してください。
	窓際など外気の影響を受けやすい場所に設置していませんか	外気の影響を受けにくい場所に設置してください。 ☞P5
「ポコ」「ポコ」音がする	タンクから給水する音です	故障ではありませんのでそのままご使用ください。
ルーバーの開閉時にカタカタ音がする	ルーバーが空回りしている音です	故障ではありませんのでそのままご使用ください。
ロックランプが点滅して運転が停止している	前パネルまたはフィルター蓋がきちんとしまっていない	前パネル、フィルター蓋をしっかり閉めてから運転スイッチを入れてください。 ☞P20 ※ロックランプが点滅している場合、除菌ができなくなります。できるだけ早めに処置してください。
	フィルター蓋がはずれている	
運転中にときどき「カチ」「カチ」音がする	加湿フィルターが回転しているときに発生する音です	故障ではありませんのでそのままご使用ください。

アフターサービス

保証書について

取扱説明書の裏表紙に付いています。所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ保存してください。

保証期間はお買いあげの日より1年間です。

- 保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎてからの修理については、お買いあげの販売店、またはもよりの「お客さまご相談窓口」(別紙)にご相談ください。お客さまの希望により有料修理いたします。

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障・事故は補償いたしません。

補修用性能部品の保有期間について

フィルター気化式加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、6年です。

- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

お客様ご相談窓口でお受けした、お客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

- お客様ご相談窓口でお受けした個人情報は商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。
個人情報の取り扱いについての詳細は、
ホームページ http://jp.sanyo.comをご覧ください。

ご相談や修理は

家電製品についての全般的なご相談　三洋電機(株)お客さまセンター

受付時間:9:00〜18:30(365日)
総合相談窓口　050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は
大阪(06)-6994-9570におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合
三洋電機(株)お客さまセンター
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX:大阪(06)6994-9510

修理や部品に関するご相談は、お買いあげの販売店、または別紙の **修理相談窓口** にご依頼ください。

●故障修理を依頼されるときは

次の事項をご連絡ください
①故障の状況
②品番(RH-VWX12C)
③製造番号(本体背面のラベルに記入してあります)
④お買いあげ年月日
⑤おなまえ、おところ、電話番号

※故障修理を依頼されるときは、加湿フィルターを取りはずしてください。取りはずした加湿フィルターは、乾燥させてから保管してください。

●お客さまメモ

アフターサービスのご連絡に便利です。

お買いあげ年月日　　年　　月　　日
お買いあげ販売店 電話(　　)　ー
担　当

仕　様

特定地域（高地、極寒地など）では、所定の性能が確保できないことがあります。

<table>
<tr><td colspan="3">品番</td><td>RH-VWX12C</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用水</td><td>水道水</td></tr>
<tr><td rowspan="9">製品能力</td><td rowspan="3">加湿量
（室温20℃、湿度30%）</td><td>強運転時</td><td>約1200mL／h</td></tr>
<tr><td>中運転時</td><td>約900mL／h</td></tr>
<tr><td>弱運転時</td><td>約600mL／h</td></tr>
<tr><td rowspan="3">連続加湿時間
（室温20℃、湿度30%）</td><td>強運転時</td><td>約4.5時間</td></tr>
<tr><td>中運転時</td><td>約6時間</td></tr>
<tr><td>弱運転時</td><td>約9時間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">適用床面積
（めやす）</td><td>洋室（プレハブ）</td><td>33畳（55m²）</td></tr>
<tr><td>和室（木造）</td><td>20畳（34m²）</td></tr>
<tr><td colspan="2">タンク容量</td><td>約5.4L</td></tr>
<tr><td rowspan="6">電気特性</td><td colspan="2">電源</td><td>単相100V　50／60Hz</td></tr>
<tr><td rowspan="3">定格消費電力
50／60Hz</td><td>強運転時</td><td>40／40W</td></tr>
<tr><td>中運転時</td><td>26／25W</td></tr>
<tr><td>弱運転時</td><td>14／14W</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源コード</td><td>1.4m</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法（幅・奥行・高さ）</td><td>425mm・305mm・490mm</td></tr>
<tr><td colspan="3">質量</td><td>10kg</td></tr>
<tr><td colspan="3">別売品</td><td>加湿フィルター　RH-F12C　7,560円（税込）</td></tr>
</table>

※適用床面積（めやす）は、日本電機工業会規格（JEM　1426）に基づき、プレハブ住宅洋室の場合を最大適用床面積とし木造和室の場合を最小適用床面積としたものです。
ただし、壁・床の材質・部屋の構造・使用暖房器具等によって適用床面積は異なりますので、販売店にご相談ください。

SANYO フィルター気化式加湿器 ❖ 保証書 ❖

持込修理

品 番 RH-VWX12C	製造番号
★お客さまお名前 様	
★ご住所 〒 ★電話番号（ ） -	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買いあげの日から左記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買いあげの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買いあげの販売店にご依頼ください。

保証期間 ※お買いあげ日 年 月 日 本 体 1年間 （加湿フィルター、エアフィルターを除く）	※取扱販売店名 住所 電話番号

★印、※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 ロ. お買いあげ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 ホ. 本書の提示がない場合。
 ヘ. 本書にお買いあげ年月日、お客さま名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 ト. 水道水以外の液体や、水道水に他の物質を添加して使用し、故障した場合。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料はお客さまのご負担となります。
3. ご贈答品等で本書に記入してあるお買いあげの販売店に修理をご依頼になれない場合には、別紙のお客さまご相談窓口をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買いあげの販売店または別紙のお客さまご相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、アフターサービス☞P25をご覧ください。

三洋電機株式会社 〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2丁目5番地5号
電話 大阪(06)6991-1181

愛情点検 長年ご使用の加湿器の点検を！

こんな症状はありませんか	● 水もれする ● コードやプラグが異常に熱い ● こげくさい臭いがする

使用中止	故障や事故の防止のため必ず販売店、またはもよりの「お客さまご相談窓口」（別紙）に点検をご相談ください。

三洋電機株式会社
三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社
家電事業部
〒370-0596 群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

この商品は海外では使用できません。（FOR USE IN JAPAN ONLY）

73164120381000